

子育てするなら
三原

三原市は、「子育て」や「教育」に力を入れています。妊娠期から出産、保育園から大学まで、子どもたちの成長に寄り添った多彩な支援や教育環境を整備。切れ目ない体制で、子育てをワンストップで応援しています！

幅広い世代が集う、“出会い”の場
三原市児童館 ラフラフ

0～18歳までの子どもと保護者が予約なしで利用できる施設です。乳幼児ルームや遊戯室のほか、中高生向けの学習室、大きな鏡の前でダンスの練習ができるスポーツ室など設備も充実。週末には家族連れの姿も多く見られます。異なる世代が日常的に交流することで、保護者が子どもの成長を身近に感じられる場です。地域の方と自然に関われるのもラフラフの魅力。利用者がイベントの企画運営に参加している点も特徴で、ファミサポの利用拠点にもなっています。

ラフラフスタッフ
三浦さん



子育て支援課
溝上さん

ここに来れば
何かを発見でき、
誰かとつながれる。
そんな場所でありたいですね。



三原市児童館 ラフラフ

三原市城町1丁目2-1 ベアシティ三原西館2階

電話番号 08048-67-1123

開館時間 10時～19時

休館日 毎週火曜日、お盆、年末年始



こども家庭センター すくすく

三原市港町3丁目5-1 (本庁2階)

こども安心課 こども家庭センター すくすく

開館時間 月曜日～金曜日

(祝日・年末年始を除く)

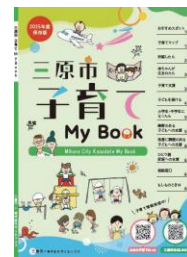
休館日 8時30分～17時15分

気軽に立ち寄れる、相談スポット
こども家庭センター すくすく

市役所本庁舎2階のこども部や、本郷・久井・大和保健福祉センター内にあり、保健師や看護師などが、妊娠・出産・子育てに関する希望や悩みなどの相談に対応しています。

三原市
子育てMy Book

子育て支援サービス、各種相談窓口、おでかけ情報など、妊娠・子育て中の方を応援するさまざまな情報をまとめた冊子です。子育て関連施設の紹介やマップもあり、お役立ち情報が満載です！

こども
おしごとチャレンジ

小学生を対象に、仕事に関する学びと体験を提供しています。「しごとは、たのしいからはじまる。」をキャッチフレーズに、年間通して仕事の体験講座や職場体験、イベントなどを実施しています。



市内の保育所～大学の数

	保育所	12所		中学校	13校
	地域型 保育事業	4所		高校	5校
	幼稚園	4園		特別支援 学校	1校
	認定 こども園	16園		大学	1校
	小学校	22校			

2026年3月時点

子育て支援に関する
補助金についての
ご紹介はこちら



教えて！センパイ移住者さん！



田山さんご家族
岡山県から移住

▶ 移住のきっかけは？

夫が三原市の会社に転職したのがきっかけです。市が主催する移住相談会に参加し、暮らしやすそうなまちだなと興味を持ちました。

▶ 子ども連れの移住に不安はなかった？

子育てしやすい環境かどうかは、とても気になることでした。移住体験ツアーでラフラフに足を運び、施設の充実度や、利用する子どもたちの年齢が幅広いことに驚きましたね。同世代のママたちの利用も多く、ここなら安心して子育てできそうだと感じました。

▶ 三原市での子育ては？

車での長距離移動が苦手な子どもたちにとって、市街地がコンパクトで、ショッピングセンターや病院にもすぐに行けることは大きな魅力です。飛行場や新幹線の駅もあり、乗り物好きな長男は大喜び。散歩していると自然に声をかけてもらえる、あたたかいまちです。



浦谷さんご家族
東京都からUターン



▶ 移住のきっかけは？

夫婦で勤めている会社が数年前からテレワーク中心に切り替わり、住む場所を選ばなくなったんです。その頃から移住を考え始め、僕の故郷である三原市にUターンしました。

▶ 移住したのは、お子さんが生まれる前ですね。

子どもが生まれたら、都会ではなく自然豊かな場所で子育てしたかったのも移住の理由です。岡山出身の私も瀬戸内海のそばで育ちましたので、海のある三原は理想の環境。夫の両親が近くにいることも心強かったですね。

▶ 三原市での子育ては？

保育園の入園待機もないですし、行政の子育て支援も充実していて安心です。特に、駅前の図書館は子ども連れでも利用しやすく、毎週通うほどお気に入り。子どもの成長とともに、三原のまちをさらに楽しんでいきたいですね。